



平成30年8月10日

各位

上場会社名 株式会社新川
 代表者 代表取締役社長執行役員 長野 高志
 (コード番号 6274)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員経営管理本部長 森 琢也
 (TEL 03-5937-6404)

平成31年3月期第2四半期(累計)期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年6月1日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 8,000 | △940 | △860 | △930 | △51.17 |
| 今回修正予想(B) | 6,300 | △1,350 | △1,440 | △1,530 | △84.19 |
| 増減額(B-A) | △1,700 | △410 | △580 | △600 | |
| 増減率(%) | △21.3 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期) | 7,187 | △322 | △192 | △256 | △14.07 |

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 23,000 | 420 | 530 | 360 | 19.81 |
| 今回修正予想(B) | 18,900 | △1,270 | △1,330 | △1,500 | △82.54 |
| 増減額(B-A) | △4,100 | △1,690 | △1,860 | △1,860 | |
| 増減率(%) | △17.8 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成30年3月期) | 15,214 | △620 | △488 | 563 | 31.00 |

修正の理由

第2四半期累計期間の業績について、ダイボンダはサーバー向けメモリの旺盛な需要とディスクリートの安定した需要を背景に売上計画に大きな変更はなく、フリップチップボンダも概ね計画通りの売上となる見通しですが、ワイヤボンダにおいて、スマートフォンの普及が一巡したことによるモバイル関連の設備投資の延期、顧客メーカーでの外部委託の活用による設備投資計画の変更など、市場で調整の動きが見えていることから、売上高は前回予想を下回る見通しです。利益面については、ワイヤボンダの売上高が想定を下回ったことに加え、売上構成の変化による利益率の低下の影響も加わり、前回予想を大きく下回る見込みとなりました。

通期の業績につきましては、下期には現在の調整局面は一服し、市場は再び盛り上がりを見せると予想されております。ダイボンダとフリップチップボンダの売上計画は概ね当初の計画通りで推移すると見込んでおりますが、ワイヤボンダの売上はメモリ関連投資が弱含んでいる影響が下期にも及ぶことなどから当初の計画を下回る見込みです。利益面でも売上高の減少、売上構成の変化による利益率の低下の影響により、前回予想を大きく下回る見込みですが、中期経営計画「Challenge Shinkawa 2020」に掲げる成長戦略と更なるコスト構造改革の実現に邁進することで、収益性の改善を図ってまいります。

為替の想定換算レートは、105円/米ドルです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上